

「いじめをしない・させない・許さない」

加計中生徒会によるアピール

2学期終業式の12月22日、生徒会執行部による『いじめ撲滅』を全校生徒にアピールしました。執行部がいじめについて、話し合ったことを発表しました。

- 1 学校で人を侮辱することばを平気で使っている状況がある。一人ひとりがいじめについて、自分の行動とか発言を振り返ることによっていじめをなくしていきたい。
- 2 ことばによる暴力を止め、一人ひとりのよさを認め合い、心と心が通うような学校をみんなで作っていきこう。
- 3 まわりの人が、いじめている人に「間違っている」「おかしい」と言える勇気を持ち、声をかけよう。声をかけることによって、いじめている人も自分の過ちに気づくと思う。また、いじめられている人は、友達・親などに話そう。
いじめを止めようとする一人ひとりの勇気で、いじめをなくすという空気を雰囲気作りをみんなで作っていきこう。
- 4 いじめをなくすためには、それぞれの個性を認めることが大切だと思う。一人ひとりが違ってこそ輝けるものだと考える。
- 5 いじめとはコミュニケーション不足が関係していることもある。お互いが自分の意見や思いを伝えあえば、あとに引きずることもなく、相手のことや気持ちを理解しあうことができ、信頼できる人間関係ができると思う。

これをきっかけとして今後いじめをなくす取り組みを新執行部に受け継ぎ、学級・生徒会・専門部、部活等で話し合います。